

整理No.2019-4		労働災害状況調査表				
発生会社 事業所						
災害発生場所		D-2B工場 2階				
災害発生日時		2018年 10月 10日(月) 10時30分 天候(晴れ時々曇り) 温度(22.3℃) 湿度(77%)				
災害区分		不休災害		休業災害(休業: 日) 重大ヒヤリ		
被災者	部門	第1製造課		雇用形態 正社員 、派遣、契約、その他()		
	年齢	43歳	性別: (男) 女	勤続年数 14年3ヶ月	経験年数 14年3ヶ月	
	傷病名	病名 (かすみ目)				
	傷病部位	目				
災害発生状況	<p>・塗料を製造するために「トリエチルアミン」をタンクの蓋を開けた状態でドラム転倒機を用いて54KG投入した。その後、半製品樹脂を3ドラム投入後休憩を取るためゴーグルを外したが、視界に白くモヤがかかった状態だった。流水で洗眼したがモヤの状態は変わらなかったが、休憩後視界ははっきりしモヤはなくなった。 念のため眼科にて受診したが特に異常はなかった。</p> <p>・マスクは、アンモニア用吸着缶を装着したマスクを着用していた。</p> <p>・排気装置が故障のため停止していた。</p> <p>※トリエチルアミンによるかすみ目と推測される。</p>			状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 ^{※1)} 9有害物との接触(7以外)			作業の形態: 定常 非定常 、その他()		
	起因物: トリエチルアミン、排気装置			特記事項		
	原因分類			1.人的要因(man) : 排気装置が稼働していない状態でタンクの蓋を開けたまま仕込み作業を実施した。 危険物の認識、教育不足。 2.物に関する要因(machine) : アンモニア用吸着缶マスクを使用。排気装置が故障していた。 3.環境要因(media) : トリエチルアミンが揮発していた。 4.管理的要因(management) : 非定常時の作業手順書がなかった。		
対策		1.排気装置を修理する。 2.アミンに有効な吸着缶を調査し、入手し使用する。 3.排気装置の保全カレンダー化を実施する。 4.アミンが外気に漏れない(クローズ)状態で仕込める方法を検討する。(L字配管+スライドロック等) 5.非定常時の作業手順書を作成し、教育を実施する。				
		対策分類 ^{※2)} : 1-6、2-4、2-6				
備考		類似箇所の摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)